

平成25年度第1回（第5回）外部アドバイザー委員会報告書

1 開催場所

倉敷市立短期大学 大会議室

2 開催日時

平成25年6月12日（水） 13:30～15:26

3 出席者

①委員：出席8名（欠席0名）

江島学長（委員長）、高田委員、竹馬委員、乙部委員、河合委員、陶山委員、佐藤委員、岸本委員

②教職員：出席7名（欠席0名）

野村保育学科長、内田服飾美術学科長、三輪図書館長、安達学生部長、田中学生部主幹、岩崎事務局長、峰尾事務局主幹

③オブザーバー：出席2名（欠席0名）

小野企画経営室室長、別府企画経営室主幹

4 次第

- (1) 学長挨拶
- (2) 外部アドバイザー委員自己紹介
- (3) 短期大学関係者自己紹介
- (4) 子育カレッジ「くららっこ」視察
- (5) 報告・審議事項

6 外部アドバイザーの意見

- 意見1：共同の展示会などで学生の姿を間近で見ると、企業にも新たな発見があるのではないか。商工会議所も産業だけではなくアートの面から企業、地域、産地のイメージを挙げるといふ中に学生の感性、意見を取り入れていきたいので、今後の学生の活動に期待している。
- 意見2：瀬戸内国際芸術祭が開催されているが、児島での知名度は低い。児島ブルーアートフェスティバルという催しを春の瀬戸大橋祭りの最終日に行った。秋は競艇場で瀬戸大橋祭りが開かれるが、同じくアートフェスティバルを開こうと計画。学生の得意なデザインの部分でも何か出番があるのではないか。この催しも継続していくので視野に入れて貰って、今年は無理でも来年の春など発表の場にして貰えれば。町全体が産業のために動いているので、お力を貸していただきたい。また保育学科の学生にも、共同ということで何かの形で参加していただきたい。
- 意見3：縁の展示されているものを見に行った。とても素晴らしい作品だった。展示会をされるのは大変いいことだと思う。
- 意見4：企業へのオープンキャンパスについて、短大からボールを投げかけて欲しい。今後のPRの仕方など課題として一緒に考えていきたい。

- 意見5：保育学科、服飾美術学科もいい形への進化をしていくべき。物づくりは工学部でも厳しい現状だが、2年間の短い期間の内に将来への構想をしっかりと持つべきではないか。児島という繊維産業の利を生かした面での就職活動をもっと意識することが大事なのではないか。また、例えば女性が多い短大ならではの取り組みとして、自分自身が購買者の立場になると企業の経営、運営とは違った視点での提案が出来るのではないか。当事者の立場になると今自分がしなければならないことが見えてくるのではないか。教員もそのような指導を行うとよいのではないか。
- 意見6：服飾美術の就職で地元企業に就職する人数が少ない。倉敷で出来ることの利点に目を向けると、企業から支援をいただき短大ともっと連携を深めてはどうか。例えば工場への見学や製作現場のアドバイスを受ける機会を増やすなどすれば学生にも意識させることが出来るのではないか。

以上